



前々回の例会報告

第2176回例会5月27日(日)

於・つくばノバホール AM 9:30~

RI第2820地区 地区大会

5月27日(日)は例年同様地区大会に出席する移動例会になりました。7:30バスは大洗町役場前を出発、8:30前に会場のノバホールに到着。昨年一昨年も事務所に出席会員数を事前に伝えていたにもかかわらず、席が確保できなかったため少し早く出発しました。到着して会場に入るとなんと第2分区に割り当てられた席はすでに埋まっていた。エントリは何のためだったのでしょうか。仕方がないので他の席にいきました。そこは空いていました。そのうち席が埋まってきました。席の近くに見たことのある顔が見えました。ハイ、那珂湊RCと大子RCの方々でした。席が足りないようです。ホムペでノバホールの大ホールの客席数をみると1000席でした。主催者であるガバナーは地区大会の参加者を地区内会員の50%未満と想定しているようです。来年は県民文化センター大ホール。こちらは1514席あるので分区ごとに座れるかな?さて、9:00より地区大会は始まりました。通常通りの地区大会で、地区大会でその年によって変わることは記念講演です。今年は吉岡秀人さんというミャンマーで



無給で無償医療を行っている小児外科のお医者さんでした。30歳の時にミャンマーの人口32万人のところたった一人の医師として活動を開始。患者さんからは治療費を取らず、自らも無給で働かれました。その後、2004年「日本発祥の国際医療NGO」であるジャパンハートを、自身の長年の海外医療の経験をもとに、医療支援活動のさらなる向上を目指して設立されました。団体の活動は、日本から参加する多くの医療者やボラ

ンティアによって支えられています。その数は年々増加し、通算3,500名を超えるボランティアが参加し、これまで途上国で15万件の治療を行ってきました。(2017年12月現在)

これらの活動は全て「未来の閉ざされた人たちに、明るい未来を取り戻す」ことを目的としているとのこと。 「人は一粒の水の分子かもしれないが、その無数の分子が集まり、流れを作り、川となり、その流れの中で、人類に恩恵をもたらしていく。人は生まれたその時から、先人達の犠牲の上に、人類が歴史上成し遂げてきたその発展の利益を先に受け取っている。つまり人間は利益を先取りしてしまっているわけだ。先人達の利益を受けるだけ受けておいて、自分は誰の利益にもなりません。人は生まれた時より受けているこの前借りた利益を、未来の人類に返す義務を負っている。そして先人達と同様に、自分も一粒の水分子になり、流れの一部になり、人類の発展に参加する。」とおっしゃられていました。この講師の先生は著書もあるようで、その印税はジャパンハートの活動に使われているようです。講演料もジャパンハートの活動資金になるとのことです。詳しくはジャパンハートのHPをご覧ください。 <http://www.japanheart.org/> 講演が終わって、最後はいつものように懇親会でした。



【報告者 会報委員の土子】

前回の例会報告

第2177回例会6月7日(木)

於・例会場 PM 0:30~1:30

○点鐘
○国歌斉唱

田口会長

○ロータリーソング “奉仕の理想” 斉唱

○四つのテスト唱和

○出席報告

関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
5月17日	19	4	2	84.00 %	晴
5月27日	28	0	0	100%	晴

○委員会報告

★雑誌委員会



木村委員長
横 P03→RI 会長メッセージ 2年間のライズリー会長の活動及び「ロータリー;変化をもたらす」のテーマを通じて、世界中のロータリアンが実現した「偉大な奉仕の数々に心から感謝申し上げます」と結んでいます。

す」と結んでいます。

横 P09→全国の植樹活動では水戸クラブの事業が掲載されています。

横 P15→「こんなにあります。ロータリー親睦活動グループ」は面白いですね。 “マグナグラエシア（古代ギリシャの）” とか“住まい交換”、“警察”、“シングルス”なんてのもあります。どんな活動してるんだろ？

横 P18→(この記事を書いたのに掲載したのか編集の意図が今ひとつ解りませんが)グローバル補助金を利用したタイのクラブとの交流の様子が紹介されています。内容は奉仕活動もさることながら戦没者への慰霊と鎮魂の旅、やはり日本国とタイ国の関係は「インパール作戦」なしには語れないのでしょうか。タイに限らずアジアに対して我が国は「まだまだ」であり「もっともっと」なのかもしれません。

横 P24→此処からは米山梅吉翁の特集です。日本ロータリー100周年を迎えてイベントも企画されている様です。

横 P31→雑誌委員会の立場から、取り上げなければならないのですが、(本来裏方に徹すべき編集作業の)異例ともいえる「友」委員会委員長の「退任のあいさつ」です。(どうもこの方、裏より表に出たがっているみたいで本年度初頭の友編集スタッフ名掲載ページはRI会長の「あいさつ記事」より前だった)内容は、会員数の減少による「友」購買収入の激減・赤字解消が出来なかったという反省で、そのための方策を色々取りあげていますが、結局値上げせざるを得ないのでは？ということ。当クラブの委員長として「友」に対して言いたいことは多々ありますがこの場では控えましょう。

縦 P04→シマフクロウにはさほど興味が無いのでパス。植樹は大切ですが住む場所にもよります。我がクラブでも「きどっぽ池プロジェクト」がありますし

縦 P09→お隣の栃木益子ロータリークラブが紹介されています。作陶を中心とした芸術家が多いみたいですね。浜田庄司先生？の影響多大といったところでしょうか。我が茨城は陶芸に関しては栃木にひけはとりませんぞ。益子焼の親とも言うべき笠間がありますし、下館はあの板谷波山大大先生！が窯を開いた町ですから。(お許しを、私、陶器より磁器派なもので)

縦 P16→次年度 RI テーマが発表される度に、その日本語訳には様々な意見がのべられますが、特に来年度は「インスピレーションになろう」日本語としては使われない言い回しですよね。内容としてはこの方のいう通りなのでしょうが、ほかにもっと解りやすい翻訳が出来なかったのかしらとも思います。ガバナー公式訪問でのテーマへの詳しい説明に期待しましょう。

縦 P18→最近スマホに切り替えたたん、飛蚊症になりました。目医者に行ったら年のせいだと言われましたが、この

記事もう少し早く読みたかった。「ブルーライト」怖いですね。ご注意ください。

縦 P20→1年間かってに言いたい放題の俳・歌・柳もこれが最後ですご辛抱下さい。歌壇には友部クラブの方の歌が取りあげられています。同じ歌壇ですが、4月・5月号と2度も掲載された例の「ガーシュイン」の作者ワセダの福地さんの短歌が今月も1首撰ばれました。この方の歌にはその都度その捉えどころの素晴らしさに驚かされてきましたが今月の句は打って変わって、オーソドックスというか、古典的表現で力強かつ美しい。大好きな歌です。柳壇、今月は「毒」が少ない印象でした。長野オリンピック以来のカーリングファンの私は、今年の冬はとても楽しかった五輪でしたが、「そだね」で一言。カーリング競技の一番の良さは「相手のプレイに対するリスペクト」 “そだね”や“もぐもぐ”ばかりの報道が多かったマスコミには大いに不満が残ります。

さて秀逸ですが敢えてこの句にしました。というのも「艶」なのか「ホラー」なのか悩んでいます。「白い手」の持ち主は誰なのでしょう。作者が女性だけに尚更気が揉めるところです。「白い手がふわりと肩に春の闇」

○幹事報告

加部東幹事

・幹事メモの報告

○★地区研修・協議会報告(その2)

★クラブ奉仕委員会分科会

糸部次年度会員増強委員長



4月29日水戸ブラザホテルで行われた地区研修・協議会に参加してきました。クラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕Ⅰ(会員増強・クラブサポート)とクラブ奉仕Ⅱ(公共イメー

ジ・IT)と合同で行われ、広報・IT委員会の田口会員と参加しました。

会員増強は、現会員の維持と新会員の勧誘の2本立てとなりますが、現会員がその必要性を共有し、委員会や例会で討論するなどの体制を確立し、計画的に推進することが必要と思われます。クラブサポートについては、2016-2017白戸年度に「情報委員会」が発足し、2018-2019高橋年度には「クラブサポート委員会」に名称変更されます。卓話によるロータリー情報の提供等により地区をサポートすることを目的としています。公共イメージについては、行動をもって公共イメージと認知度の向上を目指すべくSNSの積極的活用、ポリオ撲滅活動のキャンペーン、My Rotaryの活用を推進しています。また、近年ロータリーの方針・手続きの変更や会員の減少・高齢化もあり、当クラブの委員会の編成や委員の任期等を検討し、様々な問題の解決を複数年にわたって図っていく必要性を感じました。

次回例会 第2179回例会
6月21日(木) 於:例会場
後半をふり返って 田口会長
創立45周年記念をふり返って 伊藤実行委員長

【今月は親睦活動月間です】

今月のロータリーレート \$1=¥110